

# 国会闘争速報

2006年12月1日 第30号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。

## 情熱のハンストが再開 単組ごとの国会闘争も拡大へ

「教育基本法案を絶対に廃案にするぞ!」。11月30日朝9時、冷たい小雨を吹っ飛ばすような熱いシュプレヒコールで参院決戦のハンストが再開した。この日のハンスト者は被処分者を先頭に4名。

特別委員会に合わせてハンスト突入集会。ハンスト者が次々発言し、包囲ネットのMさんが「衆院段階でハンストが全国に波及し、また全国からここに集まり、ハンストを起点にしてたたかいが広がっていった。ここががんばって廃案に追い込んでいこう」と締めくくった。

日中も断続的にリレーアピール



ル。「国会前にくればきつと座りこんでいるだろうと思ってか

### 4日に地方公聴会

参院教育基本法特別委は30日、地方公聴会を12月4日に開くことを全会一致で可決した。与党は7日に同特委で締めくく

り総括質疑と採決を行う方針。土日の街頭アピール、4日の地方公聴会闘争、4日からの国会前行動をさらに強化しよう。

### 「防衛省」法案が衆院通過

防衛「省」昇格法案が30日、

けつけた」という京大生。また被処分者Hさんが傍聴報告。さらに日系企業の従業員全員解雇に対して150日以上の職場占拠をたたかう韓国山本労組遠征団が連帯挨拶にきて律動を披露した。社民党の福島みずほ党首も連帯挨拶。この日は小中学生の国会見学が非常に多く、子どもたちへ何度もアピールした。子どもたちの反応は上々、引率の先生からも声援が返ってきた。たたかいは確実に知れ渡っていることを実感できた。

東京教組が参議院の正面に陣取って16時から18時まで座り込みを行った。昨日に続き2日目だ。「国家が教育現場に介入することの恐ろしさを実感する。文科省の政策がストレートに現場に降りてくる。組合の国会行動は東京教組が唯一」「ここに来たら東京教組がいると知らせていく。衆院段階で国会前に全

自民・公明・民主などの賛成で衆議院を通過した。同法案には、海外派兵を自衛隊の本来任務に位置づける自衛隊法「改正」案も含まれていた。実質的に憲法9条を改悪する内容であり、断じて認めることはできない。

員集まれといったら非組の人もとくさんきた。組合員一人ひとりに響く形で国会前行動を訴えていく。職場で組織しよう」と決意表明が続いた。

### 行動予定

- 国会前座り込み
- ハンスト者、連日の9〜18時
- 東京教組、連日の16〜18時
- 都高教、1日と4日の14〜16時
- 北教組、6〜8日
- 全国連絡会、6〜8日の9〜17時
- 12月1日(金)  
11時半〜、国会前リレー集会  
18時〜、総決起集会デモ／ところ：在日本韓国YMCAアジア青少年センタースペースSYホール(千代田区猿樂町2の5の5)  
／主催：反戦共同行動委員会
- 12月3日(日) 1億2千万人共謀の日3/12時〜15時、有楽町マリオン前リレーアピール
- 12月3日(日) 12時50分〜(若者による) PEACE&FAIRパレード／渋谷・宮下公園
- 12月5日(火) 10時〜13時、共謀罪阻止の国会前行動(主催：共同行動)／18時〜19時、国会前集会(主催：全国連絡会)
- 12月6日(水) 17時〜18時半、「ヒューマン・チェーン 第3弾」
- 12月8日(金) 夕、日教組主催の中央集会・国会デモ(日比谷野音)

●東京「日の丸・君が代」被処分者・都立「障害児」学校教員Wさん 今日からハンストを再開し、

廃案に追い込むまで闘う。衆院段階では闘いが人を結びつけ、たくさんの方が座り込み、採決がどんどん延びた。子どもたちが人を殺し、自分が殺される戦争の時代に二度とならないよう、広く訴えかけて力を集めて頑張ろう。

●被処分者Fさん 自民党、公明党はどこまで墮落すれば気が済むのか。審議の時にいないような、公聴会も出席しない連中が採決だけきて可決する。もう一度衆議院からやりなせ。教基

法改悪で生徒、教員はどうなるのか。今ですら残業ばかりで教員は過労死寸前。まじめな人ほど続けられなくなる。すると役人の心を持った人が教育をやることになる。そんな世の中にすることを絶対に許してはいけない。

●都高教一さん ここに来てみるみなさんは、上部団体に言われたからではなく、いてもたってもいられない思いで来ている。これが本当の闘いです。主権者として、国会がおかしい、組合もおかしい、だから立ち上がる、これこそ一番強い。

●被処分者Hさん 国会を傍聴してきた。聞いてて嫌になった。国会前のシュプレヒコールは国会内に聞こえます。

## おぞましき「いじめ提言」

### 教育再生会議「改正」前提に方針化

「教育再生会議で、(教基法)改正案成立を前提に議論している」と、安倍首相は言った(30日の参院教基法特別委)。その教育再生会議が29、30日に連続して発表した「いじめ問題への緊急提言」と「中間報告素案」は、実におぞましい内容である。

いじめ問題については、①いじめた子どもには「奉仕活動、別教室での教育」などの規律を適用する、②いじ

めを放置・助長した教員には懲戒処分を適用する、③いじめ対策への取り組みを教員評価に盛り込む、としている。また、来年1月にまとめる「中間報告」の素案では、①「不適格教員を

排除するため、あらゆる制度を活用する」、②学校に「副校長」「主幹」などの管理職を複数配置して学校運営強化する、としている。これらが、教基法の改悪によって行われる「教育」の中身なのだ。職場から怒りの闘いを徹底的に組織しよう。

## 座り込みを謝罪した森越

### 組合員裏切る委員長は辞任せよ

「朝まで生テレビ」(テレビ朝日、11月24日深夜に放映)での、森越・日教

で、どうしてああいうことやってんの

れ、異分子は排除される。今こそ現場も含めあらゆるところで闘いを展開しよう。できることは何でもやろう。

もし向こうがこれ以上の攻撃をするなら、混乱は起きうる。それが不起立であれストライキであれ、一切の責任は向こうにある。労働運動の原点のつとり、これからも運動を続ける。

●都高教Aさん 「朝まで生テレビ」で森越委員長が「座り込みをして」すみません」と発言したのはとんでもない話だ。12月8日の集会など単純には許されない。抗議の嵐にもつていきたい。日教組幹部の裏切りにもめげず全国から国会闘争が行われる。12月8日に通らなければ廃案にできる。

かな」。森越委員長「すみません。先週で(座り込みは)やめました」。伊藤玲子(日本女性塾)「今でも毎日何やってんの」。森越委員長「あれはうちの人たちではないんです」。

こんなにひどい発言は今まで聞いたことがない。現場の闘いを公然と裏切る日教組委員長は本当に許せないと思う。即刻辞めていただきたい。

八木は「新しい歴史教科書をつくる会」の前会長で、安倍のブレイン「5人組」一員だ。こんな極右思想の連中に教育が支配されたら、もっと大変なことになる。彼らが恐れる「国会前闘争」を、本気で、大規模に展開しよう。

組委員長の発言は絶対に許せない。八木秀次(高経大教授)「国会前で何百人も日教組の人たちが座り込んでいま

すよね。子どもたちが自殺している中で、どうしてああいうことやってんの